

開かれた心で生きる

宗教科主任 佐藤 潔人

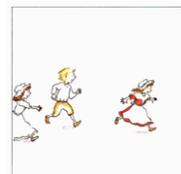


祝日記念カードから  
 児島なおみさん作

「マザーバラには 見えるのです。  
 すべてのひとの なかに かがやく  
 とくべつな ひかりが……」  
 (絵本『聖マグダレナ・ソフィア・バラ』より)



6月20日に、みこころの祝日行事が行われました。午前、サレジオ会の関谷義樹神父様の司式でミサが行われ、皆で心一つにして祈る時をもちました。ルカによる福音書15章の「見失った羊」のたとえが朗読され、その後の説教では、子どもたちが羊役になったり、オオカミ役になったりしながら楽しくお話を伺いました。「見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください」という羊飼いの言葉や、たった一匹のために見つけ出すまで探し出そうとする羊飼いの姿は、イエス・キリストの言葉や姿そのものであるというお話でした。イエスのように一緒に探してくれる人がいるからこそ真の自分を見出せるのかもしれない。ミサの後、奉仕活動で汗を流し、たて割りグループで食事を共にし楽しく交流する時間を持ちました。



午後は、絵本『聖マグダレナ・ソフィア・バラ』の作者の児島なおみさんと学院顧問のシスター宇野三恵子をお招きして、絵本についてのお話や絵本の中にあるマザーバラの願いについてお話を伺いました。絵本の中のいくつかの場面から三つ選んでいただき、その場面について子どもたちと共有してお話を進めていただきました。お話に先立って、お二人の子ども頃の様子や共通の話題が話され、子どもたちは親しみを感じながらお話を伺うことができました。



三つの場面は、マザーバラの生涯を象徴的に表現された場面です。マザーバラに会った人は皆、「私はあなたの味方です」というメッセージを受け取ったそうです。絵が表しているのは、マザーバラの生涯を通して相手の話を受け止め、待つことを大事にして、相手が自分の持つかがやきを見出すまで一緒に歩むマザーバラの姿です。



マザーバラの願いは、一人ひとりが持つかがやきを見出すことでした。そのかがやきは一人では見つけられません。イエスや仲間と共に歩みながら自分のかがやきを見つけた人は、そのかがやきを他の人のために物惜しみなく使います。マザーバラが、イエスのみこころを自分の心の鏡として、イエスと共に歩んだように。聖心の子どもたちは、みこころのうちに自分のかがやきを育て、開かれた心で相手のためにかがやきを役立てる準備をします。

7月の行事予定

1日(火)	私学半日研修・午後家庭学習	10日(木)	面談日①・午前授業
7日(月)	ハイチデー	11日(金)	面談日②・午前授業
	1年・転編入保護者会	15日(火)	5年きく・ふじ組美術館見学
	1年防犯教室(4限)		(PM)
8日(水)	5年ばら・ゆり組美術館見学	15日(火)	～17日(木)
	(PM)		4年校外学習
9日(水)	6年TGG訪問(4限～)	18日(金)	7月の会・学活・大掃除(AM)

初等科の理科では「一人ひとりが実験観察し、生活の中で生きる理科」を目標に教育活動を進めています。低学年では生活科で学院の宝である自然を生かした木々、昆虫の観察を通して自然に親しむ姿勢を身につけたり、自分たちが選んだ野菜を苦労して育て、作物の収穫を喜んだりします。



植物を顕微鏡で観察する子どもたち

3年生からは教科としての「理科」が始まり、さまざまな実験や観察を通して、理科的な素養を身につけていきます。まず、基礎を徹底的に習得させた後、ICT機器等も利用して、教師が自ら考えた応用、発展の授業を展開し、子どもたちの興味を引きつけます。4年生「電気のはたらき」では、乾電池は直列につなげばつなぐほどモーターが速く回ることを習得した後、自由活動をさせます。乾電池を7、8個直列につなぎプロペラ飛ばしをすると、プロペラが教室の天井に張りつくほど飛びます。子どもたちは直列つなぎのパワーに圧倒され、歓声を上げます。



はちみつをとるために遠心分離機をまわす子どもたち

昨年度より、5年生「植物」の単元で受粉を助ける昆虫として、中高等科の理科教員と協同し学院でミツバチを飼い始めました。巧みに花粉や蜜を運ぶミツバチのからだのつくりを実際に観察したり、組織的なミツバチの集団について深く学んだり、実際にはちみつを収穫し希望する子どもは味わってみたり、生きた教材としてこれからも活用していきます。6年生「てこ」の授業では、輪軸の考えを元に子どもたちがバット回しをして遊び、太い方を回した方が有利なのはなぜか?という疑問を支点、力点、作用点

間のそれぞれの距離を使って考えさせます。子どもたちの活発な討論が始まります。

また、世の中の理科的な新聞記事をピックアップした「サイエンス・学び新聞」は発行から11年を迎えました。単元を学習しているとどうしても理科の時間はそのことだけになりがちですが、世の中には理科的な話題がたくさんあります。いろいろな理科的な出来事に関心を持つ子どもたちになってもらいたいと考え、年に10回ほど発行しています。



教師がわくわくしながら授業を展開すると、子どもたちもそれに答えてくれます。子どもたちの「わあ」という驚きをもった知的な歓声を聞くために、聖心の理科教員は教材研究、研修等、これからもたゆまぬ努力を続けて参ります。

6月の校外学習で、5年生は植物や昆虫、雲の観察をしました



9月の行事予定

1日(月)	9月の会	23日(火)	秋分の日
6日(土)	第2回初1学校説明会	24日(水)	後期児童会立ち会い演説会
10日(水)	～12日(金)	25日(木)	午前授業
	6年校外学習	26日(金)	1～3年遠足
15日(月)	敬老の日	30日(火)	午前授業